

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和7年10月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 就職率 41.3% (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 1,067名 支援対象者数 107名 就職者数 150名 就職率 19.6% (参考)前年同月実績 ・利用者数 770名 ・支援対象者数 84名 ・就職者数 111名 ・就職率 16.7%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：60代 ・希望職種：清掃

① 求職者の課題

・H31年に脳梗塞を発症し緊急搬送され入院。退院するも手足に軽度の麻痺と言語障害が残り生保となる。その後障がい者手帳の申請を行うも取得には至らず。高血圧の治療も含め現在も通院し服薬治療中。

② 紹介の経過

・退院後は通院しリハビリを続け言語障害はほぼ回復、手足の痺れも日常生活には支障がない程度に回復、R5年5月から就労支援を開始。5年以上のブランクや体調面の不安もあり不採用が続いたが、R5年8月に病院の清掃に就職することが出来た。慣れるまでは体力的にきつかったが、徐々に慣れていき順調に継続することが出来ている等、定期的に当該窓口に来窓し近況報告をしてきていた。ところが2年が経過し、突然院長が高齢を理由に病院を閉院することになり、R7年5月末で期間満了で離職せざるを得なくなったが、それを受け本人自ら進んで次の仕事を探したいと申出があり、直ちに再び支援を開始することが出来た。

③ 結果

・紹介就職 パート マンション清掃

④ 職業相談員の所感

・今回の事例で特筆すべきは、様々な阻害要因により就労出来ずにいた受給者が、前回就労支援プログラムで就職することが出来、その成功体験を得たことで、離職することになってしまったものの、次の仕事探しをしたいと自らの意思で来窓することに繋がって行ったこと。加えて前回の仕事を2年間継続したことで、それまでの長年のブランクを埋めることが出来、職務経験を得て次の就職へのアピールにも繋がったことも今回の早期就職に結びついた要因である。就労支援が単発で終わるのではなくフォローアップを含め継続した支援が成果に結び付いた事例。

⑤ 本人のコメント

・「年齢のこともあるので、無理せず長く続けられるように早く業務を覚えて頑張ります。」と報告に来所。